

## ●第1回親子魚釣り 100人の参加で大成功 9月30日(土) 玉水浜



2023年度の事業計画を検討する中でイタセンパラの復活を目指す取り組みをどう具体化するかとの議論の中で住民を巻き込んだ取り組みに発展させるべきと議論が深まり、放流の兆しが具体化した場合の受け皿作りを用意しようと落ち着き。第1回目の外来種駆除を始めることになりました。第1回親子魚釣り大会の開催になり



魚釣り風景



除草が行われたワンド

ました。里山の会としては小川や木津川本河でのたも網を使つての経験はありますが、釣竿やテグス、ウキなどの一式を整えることからの準備になるので苦労しました。具体的に行動を始めると「案ずるより産むが易し」の言葉通り、知恵と力が集まって、協力者がどんどん見つかり、これなら道具などの準備が見込めることになりました。そして最も大変なことはワンド周囲の除草作業が最大の課題となっていました。この作業は自分たち以外にも協力を呼びかけましたが思うほどに反応がなく時間をかけて可能な範囲からはじめました。まず駐車場から中聖牛までの通路、そして折り返り駐車場（中聖牛）からワンドまでの通路（最大の難所：地形が凸凹で曲線の通路）が大変でした。続いて釣り場の足場と歩行通路の確保に時間がかかりました。こうした準備にかなりの時間と体力が必要になりました。こうしたところを惜しまずに丁寧に準備が整えられたので、大きなトラブルがなく、無事に第1回目の釣り大会が成功しました。事前準備のためにご奮闘いただいた皆さん本当にご苦労様でした。せっかく作った通路を消滅することなく月に一回は除草を続けて徐々に足場を固めて行ければと思います。本日もお越し頂いた皆様のご協力に感謝致します。

今回のスタッフは里山の会の強力な皆さんの惜しみない協力が発揮されましたので大成功致しました。

特に際立ったのが、里山農園に来ていただいている「母ちゃんズの皆さん」でした。それぞれが子育て最中であり、魚釣り大会に参加するお子さんを抱えながら、大会の運営で手の届かないところ（受付の助手、魚釣り道具の手渡し、釣り始めたら起きるトラブル、子供たちの様々な要求の聞き取り）などのきめ細かな対応を、懸命に支えていただきました。個々での気配りがなければスムーズに運営できなかったと思われます。表に出ないすごい働きを行って下さいました。本当にご苦労様でした。有難うございました。



## ●綾史郎先生と阿部晟大さん

綾先生にこの釣り大会の開催を相談すると、一番に釣り竿一式を使って下さいと返答をいただきました。事務局会議で大きな課題が釣竿等一式の道具の用意でした。これが一挙に解決することになって取組が始まりました。そして仕掛けを40本の竿すべてに取り付けていただき直ぐに餌をつければよい処まで準備をしていただき、至れり尽くせりのところまで行っていただきました。そして当日のトラブルについても対応していただき有難うございました。





解説される光田重幸先生

●秋の親子植物観察会 10月1日(日) 秋の親子植物観察会が伊藤さんを中心にして光田先生を講師に迎えて開催されました。

当日朝7時頃には強い雨が降っており開催を懸念しましたが、9時頃には雨も止みほっとしました。10時に京田辺市市役所前に集合した参加者は12名でした。光田先生から本日の観察対象の植物のお話を聞き、出発しました。市役所の前の竹藪で早速マツバランを見つけました。

ホンゴウソウ、アキザキヤツシロラン、クロヤツシロランは残念ながら見つけれられませんでした。ヤブミョウガ、アマチャズル、ナガバジャノヒゲ、コクラン、キチジョウソウなどを見つけることができました。お昼は酒屋神社の横の公園広場で昼食休憩をとり、酒屋神社の境内でみんなで記念写真を撮りました。

午後からは、山手幹線の道を同志社方面に歩き、同志社女子大と国際高校の間の小さい山、天神山に向かいました。地名は「三山木天神山」で「田辺天神山遺跡」となっているところです。弥生時代後期の住居などの跡で、同志社が発掘調査されたようです。その場所にクチナシグサが大量に生育していました。光田先生にご指導いただいたおかげで、京田辺の自然の豊かさ、素晴らしさを再認識でき、参加者の皆さんも、大変勉強になった良い観察会だったと喜んでおられました。光田先生、参加された皆様、有難うございました。



参加者と光田先生

●前理事長の深田さんが秋の叙勲を受けられると発表がありました。

長年農林省でお働きになってきて、定年後も各種団体の世話役を引き受け社会貢献されてきたことが大きく評価されたものだと思います。里山の会員で木津川の花ごよみの表紙の写真などで活躍され

ていた中西さんに引き続いて深田さんが叙勲されました。里山の会としては木津川生育写真集や木津川生育植物標本写真集、京都府植物誌目録ノート発行に大変な尽力をされました。こうした陰ながらのご奮闘が認められたのではないのでしょうか。受賞おめでとうございます。

●2023年度京都府地域交響プロジェクト交付金申請の交付決定が届きました。(9月21日付)

交付決定されたイベントは ①親子花見乗船体験 ②春の野草を食する会 ③親子植物観察会 ④魚とり ⑤イタセンパラ生息調査 ⑥親子夜の生き物調査 ⑦ホタルの集いと里山音楽会 ⑧夏の昆虫観察会 ⑨親子講演会 ⑩秋の親子植物観察会 ⑪子どもカヌー体験 ⑫子どもと竹蛇籠づくり ⑬親子七草摘み ⑭木津川はどんな川冊子づくりの14イベントです。それぞれ充実した内容にしてゆきましょう。

●今年初めてアサギマダラが里山農園に飛来しました。



数年前に数本のフジバカマを移植してみると、今年初めてのアサギマダラが飛来してきました。今年は僅かばかりであったフジバカマが増えて写真のようになりまして、綺麗な花が咲いてくれました。10月3日に訪ねてみますとアサギマダラが飛来していました。



京都大原野フジバカマ園  
でのアサギマダラ